

第6学年C組 社会科学学習指導案

指導者 菅原匠 高橋遼太 畠山彩音 皆川悠太

1. 単元名

「花岡事件とその後の取り組み」

2. 単元の目標

- ・花岡事件について関心を持ち、進んで学ぼうとする。（関心・意欲・態度）
- ・花岡事件について自らができる関わりについて考えることができる。（思考・判断・表現）
- ・資料を基に花岡事件に残った問題について読み取ることが出来る。（技能）
- ・花岡事件について理解することが出来る。（知識・理解）

3. 教材観

本教材は小学校学習指導要領解説社会編第6学年内容（1）ケに基づくものである。本教材は、戦争を身近なものとして認識し、戦争を一面的に捉えるのではなく、多面的に見ることを目的としている。秋田県で起こった戦時中の事件であることを踏まえ、中国人側の視点に立って概要を学んでいくことで、日本側の加害的側面についても触れる。戦争を知らない人が戦争を伝えていく時代になってきている現在、いろいろな事実を知り、様々な疑問を持って学習に取り組む必要がある。本教材を一つの手がかりとして、これから平和について考える一つのきっかけにする。児童が伝える側に立った時、花岡事件という歴史的事実とどう向き合い、どう伝えていくかを自分の考えを表現できるようにする。

社会科教育学研究室として花岡事件を取り扱った授業実践は中学校で行われたことはあるが、小学校では初めてである。それにあたり、人物学習に寄せた授業展開を意識している。中学校の実践における課題として説明が多くなり、生徒が主体的に学習する時間が少なくなってしまうことを踏まえた授業構想を行った。1時間目の学習ではスライドの途中で当時の様子を考えたり人物の心情を考えたりする活動を取り入れ、2時間目の学習では話を聞く学習を入れ、児童が主体的に動く時間を取り入れた。

4. 本時の実際（本時 1 / 2 ）

（1）ねらい

実在した人物を追いながら花岡事件について理解することができる。（知識・理解）

時間+	学習活動	教師の支援	資料
導入 10分	○満州事変期から終戦までの概要を学ぶ。	・中国、アメリカとの戦争について知っているかを投げかける。 ・戦争の流れについて理解しやすくするために、中国とアメリカとの戦争について分割して説明する。	スライド

		<ul style="list-style-type: none"> ・戦争がいつ起きたのか、なぜ起きたのかの時代背景を中心に学習できるようにする。 ・スライドの中で地図や写真を用いて説明することにより、当時の様子が分かるようにする。 	
花岡事件について知ろう			
<p>展開 30分</p>	<p>○中国人が秋田の地に連れてこられた理由について学ぶ。</p> <p>○スライドを見ながら当時の様子（順に労働環境・衣食住・労働内容・虐待の様子・蜂起・蜂起後の虐待）を学習する。</p> <p>○花岡事件の流れを追う中で、当時の様子や事件の流れを予想する</p> <p>○戦後の花岡事件（順に遺骨の問題・耿諄が提示した3つの要求）について予想しながら学ぶ。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・年表とスライドを照らし合わせ、時代を追えるようにする。 <p>人物については</p> <ul style="list-style-type: none"> ・耿諄、李振平について取り上げる。 <p>歴史背景なども含めて、人物から離れすぎない程度の範囲で教える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童が主体的に学習に取り組むために事件の当時の様子などを児童に予想させる活動を入れる。 ・戦後の花岡に残った問題について児童に予想させながら進めていく。 ・遺骨の問題をわかりやすくするためにはちまき山の大穴についてこの穴は何なのかを予想させる。 	<p>年表 スライド</p>
<p>まとめ 5分</p>	<p>○ここまでの学習内容を振り返る</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ここまでの学習を振り返り、残された問題について確認することで、次の学習への展望を図る。 	
<p>実在した人物を追いながら花岡事件について理解することができる。（知識・理解）</p>			

花岡事件年表

年号	月日	
1938 (昭和 13)	7 月 7 日	中国への全面侵略戦争開始。(日中戦争)
1941 (昭和 16)	12 月 8 日	太平洋戦争開始。
1942 (昭和 17)	11 月 27 日	「 」を決定。 日本国内の労働者が足りなかったため、中国人を労働者として連れてくることを決定。
1944 (昭和 19)	2 月 28 日	「華人労務者内地移入の促進に関する件」により約 3 万人の中国人が日本へ強制連行される。
	3 月 17 日	「本格移入」開始。日本軍により中国人狩りが展開され強制連行。鉱業、建設、造船など危険性の高い劣悪な作業現場で労働を強いられる。
	5 月 29 日	花岡鉱山セツ館大かんぼつ。花岡川がかんぼつし、日本人 11 名、朝鮮人 11 名が生き埋めとなる。このほう落により花岡川の水路変更工事が立案され、その工事を鹿島組花岡がうけ負うこととなった。
	8 月 8 日	「鹿島組花岡」へ、中国人_____名が第一次強制連行。中山寮に入れられ、ダム建設工事、花岡川改修工事に強制労働させられる。ぎやく待により年末までに死者 36 名。 <div style="border: 2px solid black; padding: 10px; margin-top: 10px;">中国人たちの生活の様子 どんな仕事？食事？服装？</div>
1945 (昭和 20)	5 月 5 日	「鹿島組花岡」へ中国人_____人到着。
	6 月 4 日	「鹿島組花岡」へ中国人_____人到着。連日の強制労働、ぎやく待により死者続出。6 月 30 日までの死者累計 137 人。
	___ 月 ___ 日	ぎやく待、こく使、きがに耐えてきた中山寮の中国人約 800 人が一斉ほう起する。

1989	7月1日	<p>警察官、消防団、秋田、青森、弘前の憲兵隊、一般民間人などが中国人を逮捕するために動員される。</p> <p>中国人を逮捕後、共楽館内外でぎゃく待、ごう間が3日間続く。死者続出。7月の死者数は100人以上に至る。</p> <p>死者は中山寮向かいの山に大穴を掘り、積み重ねて投げ込まれたままで終戦。</p>
	8月15日	終戦。
	10月15日	鹿島組花岡出張所関係者4人が逮捕され秋田刑務所へ収容される。31日さらに3人が逮捕される。
	11月24日	耿諄を含めた生存者の帰国。
		<p>耿諄らは日本を訪れ鹿島組に3つの要求。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ・ ・

花岡事件 60 周年記念誌より作成

みなさん、こんにちは！



現在の中国 戦時中の中国

現在・戦時中の中国の違いはなんだろう？

増設された満州鉄道

1904-日本が満州の土地と鉄道から利益
中国から土地と鉄道を譲るよう要求
1921 日本が満州全域へ侵攻 露出露軍
1937 日中戦争
長期化で物資不足に
物資を求め東南アジアへ侵攻

中国と関係悪化・世界から孤立

1937 日中戦争
東南アジアへ物資を求め侵攻
アメリカと関係悪化
1941 日本とアメリカが戦争を始める
長期化し日本がおされていく
1945 終戦

日本が戦時中物資不足に陥ると、中国から物資を奪取し、約14万人以上を日本に8月15日日本降参後行終戦

花岡事件

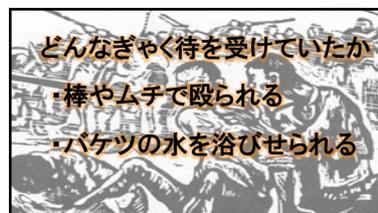
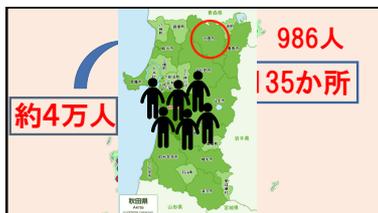
鹿島組

日本の大手建設会社

事業所の1つが秋田県の花岡にあった

1944年8月 第一次強制連行
299人
▼
鹿島組花岡へ

1945年5月に**589人**、6月に**98人**が新たに中国人労働者が連れてこられ、見せしめにぎゃく待が繰り返された。





耿諄さん
中国の元国民党軍将校。大隊長。中国人側のリーダー的存在であり、花岡事件後も精力的に活動を展開した。



李振平さん
花岡事件に大きく関わる重要人物。戦後の裁判においても証人として法廷に立った。

李振平さんは我慢の限界に来ていた・・・
しかし、中国語が分かる補導員が多く文句も言えない状況・・・

◆ もう限界だ・・・リーダーに言って戦おう！

李振平さんに言われた耿諄さんは・・・

◆ みんなの我慢も限界だ・・・動ける人たちが行動を起こそう！

その際・・・
自分たちに良くしてくれた日本人が担当じゃない日にしよう！




耿諄さんの様子
行動失敗
森の中で自殺しようとするも捕まる
共楽館前の広場に連れていかれる

李振平さんの様子
警察や消防団、大館の一般の人たちに囲まれながらも必死に抵抗
生き延びるが、捕まる→共楽館前広場へ
秋田刑務所に入れられる



1945年8月15日
終戦
 現地移入してきた中国人・・・986人
 死亡した人数・・・419人




中国人労働者への対応
 鹿島組は耿諄さんらに謝罪せず



1989年耿諄さんらは日本を訪れ
 鹿島組に3つの要求



耿諄さんらは何を要求したのだろうか？

1. 明確・丁寧に謝罪を表明すること
 2. 花岡で亡くなった方と事件が忘れられてしまわないように記念館を建てること
 3. 強制的に連れてこられ労働させられた中国人986人に賠償を支払うこと
- 鹿島組がこれ等を耿諄さんらの意図通りに果たすことは無かった

放置された遺骨	1945年
謝罪の表明	耿諄さん帰国
記念館を建てること	<u>44年の空白</u>
賠償の支払い	1989年
	耿諄さんら訪日

残された問題は
 放置されたままだったのか？



第 6 学年 C 組

社会科学学習指導案

指導者 菅原匠 高橋遼太 畠山彩音 皆川悠太

3 本時の実際 (本時 2 / 2)

(1) ねらい

花岡事件について考え自分の言葉でまとめることが出来る。(思考・判断・表現)

(2) 学習過程

時間	学習活動	教師の支援	資料
導入 2分	花岡事件について活動している人たちを知る。	戦後花岡事件がどのようなになったろうかという発問を行う。	
	戦後の花岡事件について考えよう		
展開 5分	守る会の活動について概要を学ぶ。	守る会の方々がどのような想いで活動してきたかに着眼して聞くように促す。	
20分	<ul style="list-style-type: none"> 戦後の花岡事件について学ぶ 「守る会」の人の話を聞く 児童を4つのグループに分けて4人の先生にインタビュー形式で話を聞く。 		
15分	<ul style="list-style-type: none"> 聞いた話をグループごとにまとめ、全体共有する。 	児童が自分の考えをまとめられるようにワークシートを用意し、守る会の人々の話を聞いてどう思ったかを問いかける。	
まとめ 3分	今回学習した内容を振り返る。		
		花岡事件について考え自分の言葉でまとめることが出来る。(思考・判断・表現)	

花岡事件の現在について知ろう。

年 組

どんな活動をしているのか	それはいつからしているのか	どれくらいの人に関わっているのか	どうしてそのような活動をす るのか	活動の成果

メモ（上に書くこと以外で気になったことを書きましょう）

--